

係	専門員	係長	主査	主幹	局長	副議長	議長

別記様式3

令和6年6月20日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

リベラル 阿 部 寛

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期 日	令和6年8月1日 ～ 令和6年8月2日
参 加 者 氏 名	阿部寛 本間信一
場 所 ・ 会 場	東京・国際ビル2階区画224 リファレンス貸会議室
調 査 ・ 研 修 項 目（目 的）	研修、講師 森 祐之、内容 ①学校統廃合と公共施設問題 ②公共施設更新費用と財政的な視点
交 通 手 段	自家用車・JR・飛行機・レンタカー
行 程	自宅～自家用車で庄内空港午前8時55分発～羽田空港午前10時着 ～電車～研修会場、(研修14時～16時30分)～宿泊会場 (パールホテル両国) 宿泊会場～電車～研修会場(研修午前10時～12時30分)～ 電車～羽田空港20時15分発～庄内空港着21時15分～自家用車 で自宅

※ 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出してください。



地方議員研究会

4講座申し込みの

先着5団体は、

レジュメで
取り上げます

公共施設 特別講座



10:00 ~ 12:30

公共施設問題の基礎

- ・自治体の施設の全容把握
- ・長寿命化と老朽化問題
- ・自分の街の老朽化状況の把握
- ・各地の公共施設マネジメント事例

14:00 ~ 16:30

学校統廃合と公共施設問題

- ・学校老朽化の問題点
- ・こどもの人口と学校施設
- ・公共施設の大半は学校施設
- ・避けて通れない学校統廃合のリアル

10:00 ~ 12:30

公共施設更新費用と財政的な視点

- ・将来の費用と財政的な視点
- ・国が用意している財政措置の理解
- ・いま考えないと街が破綻する
- ・自分の街の状況を類似団体と比較してみる

14:00 ~ 16:30

インフラ老朽化の課題

- ・水道管や道路の老朽化問題
- ・災害から学ぶインフラ政策
- ・インフラ政策のリアル
- ・人口減少時代に考えるべき都市政策と国の方向性

8/1^木
in
東京

8/7^水
in
京都

8/2^金
in
東京

8/8^木
in
京都

講師

もり ひろゆき
森 裕之

立命館大学政策科学部
教授、博士(政策科学)

【略歴】

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授を経て、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

【著書】

『公共事業改革論』(有斐閣、2008年)
共著:『検証・地域主権改革と地方財政』(自治体研究社、2010年)、
『地域共創と政策科学』(晃洋書房、2011年)

【論文・研究発表】

『国土強靱化』の財政と地域政策(2013年)
社会資本の老朽化問題(2012年)
公共事業と一括交付金(2012年) 等

係	専門員	係 長	主 査	主 幹	局 長	副議長	議 長

別記様式 4

令和 6 年 8 月 8 日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

リベラル 阿部寛

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期 日	令和 6 年 8 月 1 日 ～ 令和 6 年 8 月 2 日
参 加 者 氏 名	阿部寛、本間信一
場 所 ・ 会 場	東京・国際ビル 2 階区画 224 リファレンス貸会議室
調 査 ・ 研 修 項 目（目 的）	研修、講師森 祐之、内容 ①学校統廃合と公共施設問題 ②公共施設更新費用と財政的な視点
調 査 ・ 研 修 の 内 容 及 び 所 見	・自治体の公共施設において、学校の占める割合が最も多い ・学校は地方自治の歴史そのもの、地域とのつながりが非常に深い ・子どもの教育環境を考える要素は多様化で複雑なことから、統廃合で自治体は高い次元の判断と調整が求められる ・公共施設の近年の投資経費は新規整備費用が横ばいに対し、更新費用は約 2.6 倍になっている ・現状、長寿命化等により、維持補修・更新費・運営費の増加抑制が図られる。集約化・複合化で将来の経費抑制が可能 ◎所感 学校統廃合で瀬戸市の小中一貫校が 2020 年に開校。地域との合意形成を図り、魅力ある学校にするため、多世代の交流の場となるよう施設の複合化を検討。また、廃校の活用方法もセットにして地域との合意形成を図ることの重要性を学んだ。



係	専門員	係長	主査	主幹	部長	副議長	議長

別記様式3

令和6年12月16日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

リベラル 阿部寛

政務活動費調査・研修計画書

下記のとおり、調査・研修を計画しておりますのでお届けします。

期 日	令和7年1月21日 ～ 令和7年1月22日
参 加 者 氏 名	阿部寛 本間信一
場 所 ・ 会 場	東京・リファレンス西新宿大京ビル
調 査 ・ 研 修 項 目（目 的）	研修、講師 森 祐之、内容 ①世界一わかる財政基礎研修② ②財政破綻に向かう自治体財政① ③財政破綻に向かう自治体財政②
交 通 手 段	自家用車・JR・飛行機・レンタカー
行 程	自宅～自家用車で庄内空港午前8時55分発～羽田空港午前10時着 ～電車～研修会場、(研修14時～16時30分)～宿泊会場 (ホテルリステル新宿) 宿泊会場～電車～研修会場(研修午前10時～12時30分)(研修午後14時～16時30分) 電車～羽田空港20時15分発～庄内空港 着21時15分～自家用車で自宅

※ 調査・研修の終了後は、「政務活動費調査・研修報告書」を提出してください。

人口減少時代の 自治体財政

2025 1/21^火
in 東京

2/3^月
in 京都

2025 1/22^水
in 東京

2/4^火
in 京都

世界一わかる財政基礎研修①

10:00 ~ 12:30

- ・議員が知るべき財政の本質とは
- ・制度を理解してから各質疑を
- ・必ずわかる地方交付税
- ・令和6年度に押さえておきたい財政措置

財政破綻に向かう自治体財政①

10:00 ~ 12:30

- ・国の方向性を確認しよう
- ・コロナがもたらした財政規律の破壊
- ・財政逼迫に備えるポイント
- ・お金の使い方は議会が決めている

世界一わかる財政基礎研修②

14:00 ~ 16:30

- ・自分の街の財政をみる
- ・財政を見るときポイント
- ・自分の街の客観的な財政の見方
- ・職員の説明を聞いてわかった気になると悲惨

財政破綻に向かう自治体財政②

14:00 ~ 16:30

- ・各地の財政危機宣言の嘘と事実
- ・財政危機は察知できる未来
- ・合併や人口減少は理由にならない
- ・人口減少に備える財政の考え方

【講師】立命館大学政策科学部教授、博士（政策科学）

森 裕之

もり ひろゆき

経歴

1967年大阪府生まれ。
大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。
その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授をへて、2003年から
立命館大学政策科学部助教授。
2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。
また、社会的災害（アスベスト問題など）についても公共政策論としての立場から考察。

著書

『公共事業改革論』（有斐閣、2008年）
共著：『検証・地域主権改革と地方財政』（自治体研究社、2010年）
『地域共創と政策科学』（見洋書房、2011年）

論文・研究発表

「国土強靱化」の財政と地域政策（2013年）社会資本の老朽化問題（2012年）
公共事業と一括交付金（2012年）等



4講座申し込みの先着5団体は、レジュメで取り上げます

係	専門員	係 長	主 査	主 幹	局 長	副議長	議 長

別記様式 4

令和 7 年 1 月 2 7 日

鶴岡市議会議長 様

会派名及び代表者名（議員氏名）

リベラル 阿部寛

政務活動費調査・研修報告書

調査・研修が終了いたしましたので、報告します。

期 日	令和 7 年 1 月 2 1 日 ～ 令和 7 年 1 月 2 2 日
参 加 者 氏 名	阿部寛 本間信一
場 所 ・ 会 場	東京・リファレンス西新宿大京ビル
調 査 ・ 研 修 項 目（目 的）	研修、講師 森 裕之 内容 ①世界一わかる財政基礎研修② ②財政破綻に向かう自治体財政① ③財政破綻に向かう自治体財政②
調 査 ・ 研 修 の 内 容 及 び 所 見	●自治体の財政について 基準財政収入額をペットボトルにたとえ、税收の 7 5 %は標準的財源 2 5 %は留保財源。税收不足が生じれば交付金で標準的財源に補填される。 留保財源は自由度があり、ふるさと寄付金はここに入る。 ●歳出を見る場合注意点 * 目的別歳出 各項目には建設費が含まれているため、経費の大きさ だけで事業規模を判断してはならない。（事業規模が大きいから サービス水準が高いとは限らない） * 性質別歳出 ①人件費と物件費（6 割は委託料）はセットで捉える ②操出金と補助金等は公営事業や一部事務組合等への支出で、一般会 計と各会計との関係に注意 ③ここには経常収支比率が示されているので、各費目の割合に注意 ●財政破綻・財政危機とは 歳入より歳出が大きければ財政危機、基金が底をつけば財政破綻

